

コミュニティひばりまちづくり計画の取り組み

まち

地域の将来像 『100年の歴史と緑を大切に、未来へとつなぐまち』

地域の皆様から多数のご意見・ご提案を頂き、2020年3月に新しい『コミュニティひばりまちづくり計画』が完成しました。今後の基本目標と主な取り組みをご紹介します。当地区は緑豊かな閑静で良好な住環境が残される一方で、地域住民の高齢化の進展や土砂災害の対応など様々な課題も抱えています。今後も誰もが安心して暮らせるまちを目指して取り組んでいきたいと考えていますので、地域の皆様のご参画、ご協力をお願いします。

『コミュニティひばりまちづくり計画』全体版はコミュニティひばりブログ（右のQRコード）からPDFファイルでダウンロードできます。



コミュニティひばり
まちづくり計画
QRコード

基本目標① 子どもから大人まで安心して暮らせるまちづくり 安心・安全

- (1) 安全・防犯対策 : 防犯灯の設置要望、防犯カメラの設置推進
- (2) 子どもの見守りの推進
学童登下校の安全対策として、安全マップの活用
安全パトロールの実施（定期的に地域情報の実地収集）
子ども連絡所（アトム110番）を随時、各自治会で整理・集約
- (3) 道路の安全対策
宝塚大学運動場横の側溝の上の転落防止柵を設置
点滅信号から花屋敷荘園方向道路側溝の転落防止対策
（継続した話し合い）
- (4) 獣害対策 : 熊、イノシシ、アライグマの捕獲等の対策
- (5) 空き家・空地対策 : 空き家・空地の環境維持
- (6) 防災対策
地区防災計画の実行、土砂災害特別警戒区域の対策
雲雀丘倶楽部を避難所として利用できるよう要請
地域内の危険箇所の状況把握と関係先への働きかけ

基本目標② 歴史的価値を残し誰もが住みやすい インフラ整備 まちづくり

- (1) 地域公共交通システムの整備推進
事例研究・調査の実施、関係機関と協議、
住民と市・県との協議の場づくり
- (2) 無電柱化の推進
地域への説明とニーズの調査、エリアの想定
住民と市・県との協議の場づくり
- (3) 重要伝統的建造物群保存地区（重伝建地区）指定の推進
登録有形文化財指定候補の選出
所有者の了解・地域内の合意形成
市・県・文化庁への要請
- (4) 旧安田邸利活用案の具体化
地域のニーズ調査・分析、利活用案の立案、市との協議
など

基本目標③ 多世代が参加・交流できるまちづくり イベント・交流

- (1) 地域全体で交流できる場・機会の創出
ひばり祭りの実施、きずきの森で環境をテーマとしたイベントの開催
各自治会行事への相互参加の推進（盆踊り、夏祭り、バス旅行など）
各自治会館を利用した趣味の会の開催（JAZZを聞く会など）
- (2) 地域の担い手づくり
コミュニティとPTA世代の交流促進
子育て世代のお父さんの地域活動への参加促進
（おやじの会の立ち上げなど）

基本目標④ 住民同士が支え合うまちづくり 高齢者・障がい者福祉

- (1) 高齢者等の居場所づくり
サロン活動の実施
気軽に集まれる場所の確保
（坂が多いため、各地区から移動が楽で集まりやすい場所）
- (2) 地域内での交流の促進
サロン同士での交流会の実施、福祉ネットワーク会議の開催
介護者の交流会の開催
- (3) 地域で様々な立場の方の支え合い
認知症の方への声かけ
障がい者への理解促進のための学習会の開催

基本目標⑤ 子育てしやすいまちづくり 子ども福祉

- (1) 小学生の学習支援 : 寺子屋事業、宿題ひろば
- (2) 子供の居場所づくり
放課後子ども教室「坂っ子ひろば」
子ども食堂（カレーランチ他）
中高生のための居場所づくり、育成会待機児童の解消
- (3) 世代間交流の促進
焼き芋大会・もちつき大会
子ども館と連携したイベントの拡充
- (4) 親への支援（職業の有無にかかわらず）
ファミリーサポート事業のPR、情報提供の冊子づくり
子どもの一時預かり制度の検討
- (5) 人材発掘・育成
人材バンク登録制度の再開、情報が届きにくい世代へのPR
- (6) 学校との連携 : コミュニティスクールの推進

基本目標⑥ 豊かな自然を活かし、快適で安らぎのある 環境 まちづくり

- (1) 住宅地環境の整備
既存桜並木の適切な保全
住宅地域内やその周辺部の高木の整備（防災と景観の両面）
住宅のコンクリート法面等の緑化啓発
各公園の適切な維持管理
- (2) きずきの森の活用
住宅地からのアプローチがしやすい通路の整備
生物多様性戦略に基づく新しい魅力づくりの検討
- (3) 地域の環境保全に向けた取り組み
環境保全活動の担い手づくり
太陽光発電等自然破壊の防止に向けた行政への働きかけ